



鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第65号

2009年(平成21年)9月29日  
 発行：鎌ヶ谷市国際交流協会  
 〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1  
 TEL 047-445-1141 (内550)  
 FAX 047-441-9400  
<http://www.kifa.gr.jp>

## 外国人に暮らしやすい鎌ヶ谷へ

外国人と市民が積極的交流のまちへ——鎌ヶ谷市国際交流協会（KIFA）の2009年度総会（平成21年5月24日）の冒頭、清水聖士市長は「鎌ヶ谷市在住の外国人の方の増加はめざましく、3年前に1000人であったのが、現在は1200人になっています。来年には成田空港へ直通の鉄道が開通し、さらに在住外国人が増えるでしょう。今後とも、いろいろな草の根の交流活動の場面で、KIFAの皆さんのご活躍を期待しております」と来賓のあいさつで、力強いメッセージを発信されました。海外出身者や国籍の異なる人々と市民が、お互いの文化的な違いを尊重しあい、地域の一員として、快適に暮らすことができる多文化共生社会づくりを旨とする市は、21年2月に「鎌ヶ谷市多文化共生推進計画」をまとめあげました。



交流カフェでは毎月1回、在住外国人らと「医療」などテーマを決めたり、レジャーなど自由なおしゃべりを楽しんでいます

### 「鎌ヶ谷市多文化共生推進計画」とKIFAの役割

鎌ヶ谷市の調査によれば、登録済みの外国人は平成14年度に約900人でしたが、20年度には約1200人となって、市の人口の1%を占めるようになりました。住民登録に来られる外国人に対し、市は英語・中国語・韓国語・ポルトガル語で編集した「鎌ヶ谷市ウェルカム・バック」を配布しています。これには①緊急時の対応法②子育て③保険・年金④相談窓口など——全部で9項目にわたって、外国人居住者が市民生活をする上での「便利帖」として配布しているものです。

#### ◎世界と結びつく国際化の促進

市はこれまでに「人間尊重・市民生活優先」「世界と結びつく国際化の促進」を基本理念として、①19年度中に外国人に対する住民アンケート②多文化共生懇話会③市庁内調査等を実施④20年度には策定委員会をス



外国人登録者に配られる4カ国語編集の「ウェルカム・バック」

タートさせ⑤21年2月に「鎌ヶ谷市多文化共生推進計画」を策定しました。「推進計画」では平成21年度を初年度とし、26年度までの6年間をかけて完成させるとしています。平成23年度は中間年となるため、社会の変化に合わせた計画の見直しを行う予定としています。

「計画」は4つの基本方針からなっていて、推進のための基本方針と具体的施策として——、

- I、交流のきっかけづくり＝①市民交流の推進②人材の育成③ネットワークの構築④経済・産業交流
  - II、国際化の意識づくり＝①啓発の推進②教育・生涯学習の推進
  - III、暮らしやすい環境づくり＝①行政サービスの充実②情報の提供③情報の収集
  - IV、体制の整備＝①庁内各課と連携した施策の推進②市民や市民団体との協働③文化共生のための拠点の整備④国や県等、関係機関との連携
- をあげています。

この「推進計画」には各項目ごとに「成果指標」を設定してあるところが、大きな特徴となっています。

例えば、「交流のきっかけづくり」の項における「ネットワークの構築」の「成果目標（例）」として、関係団体が提携したイベントの開催数、地域の活動に参加経験のある外国人住民の割合。また「暮らしやすい環境づくり」の項では「行政サービスの充実」の「成果目標（例）」として、子育てイベントへの外国人住民の参加人数、窓口における通訳業務の件数、多文化共生に関する職員対象の啓発・研修回数——を目標としています。

（2面に続く）

## ◎KIFAに対する期待の大きさ

「推進計画」策定の背景となっている資料もいくつか紹介されています。

そのなかの「外国人に対する住民アンケート結果」をみると、①50%の人が学校や地域などの活動に参加したことがない。②25%の人が日本人との交流の機会が少ないと感じている。③日本語が分からないので、交流や生活に支障がある。④60%に近い人が市の広報誌を読んでいない。

一方、市庁内における調査の結果は、①今までの課題＝窓口における言葉の問題があった。②今後の対応課題＝子育て施策、防災対策、職員の対応能力向上――などがあげられています。

具体的施策のなかで、①市民交流の推進②姉妹都市（ニュージーランド・ワカタネ）との交流促進③国際交流を担う人材の育成④外国人住民への学習機会の提供など――これらの施策にはいずれも、KIFAをその活動の中核と位置づけていて、市のKIFAに対する

期待の大きさが感じられるものとなっています。

## ◎「推進計画」について、担当課から解説と説明を聞く

「多文化共生推進計画」について7月16日に、酒井哲郎会長はじめ三役・運営委員会のメンバーは、同計画を担当する企画財政課の岩佐昇課長（KIFA事務局長）と同課員大田彩子主事から、資料を基に詳細な説明を受けました。

その際、運営委員から2、3の質問と要望事項が出されました。①一段と進む国際化の受け皿として鎌ケ谷市を位置づけるなら、26年度に計画策定が完了するというスケジュールは、のんびりしていないだろうか。実勢に適応できるようにスピードアップすることも必要ではないか。②また、年度ごとの「実行目標」を設定して、重点施策を明記して実施することもお願いしたい。③一例をあげれば、拠点としての「多文化共生センターの設置」は最優先でスタートさせていただきたい。ボランティアを募るなどして、早急な実行を図っていくことも検討されたい。

## ◎「ハーイ」から始めよう

KIFA総会のあいさつのなかで清水市長は、ご自身の海外体験を例に、「私たちも鎌ケ谷で、近所に住んでいる外国人と道で出会ったとき、ハーイと笑顔であいさつできれば、彼らもきっと鎌ケ谷を住みよい街だと思い、良き隣人になってくれるのではないのでしょうか」とも述べています。

まさに、多文化共生社会は私たちの「ハーイ」から始めようではありませんか。

市内に見られるようになった  
多国籍言語による表示

### このゴミ置場はハイツ専用です

ゴミは決められた収集日の朝8時までに出して下さい。  
必ず鎌ケ谷市指定の袋を使用してください。

Bring your garbage by 8 a.m. on the decided day.  
Only use Kamagaya City's garbage bags.

쓰레기는 결정된 수집일 아침 8시까지 내주세요.  
만드시 지정된 봉투를 사용해 주십시오.

在規定的収集日早上8点以前把垃圾放在这里。  
请使用指定的垃圾袋。

## 市の「推進計画」に合わせKIFAも改革のとき

KIFAも設立以来、22年経ちました。設立時と現在では市の現勢も大きく変わってきました。市民の国際交流に対する意識も質的に変わってきています。外国人居住者も増え続け、設立当初の「市民の国際化」を担うKIFAの役割から、現在は「多文化共生」市民社会に貢献するという役割も必要になってきました。

また、ボランティアのなかにもKIFAのあり方を問い直す機運と、市の助成団体としての活動から「枠

を超えて」一層、幅広い対応をしようとするグループもあります。

この機会に、これまで続けてきた事業内容の見直しをすべきとの考えから、執行部と各部会長を中心に議論を始めました。これはあくまでも限られたメンバーで進めるものではなく、開かれた議論の場とするものでなければなりません。広く意見・提言を出し合い、ボランティア協力のもと、推し進めていくときではないでしょうか。

◆月に1回、中央公民館で開かれているKIFA「交流カフェ」では、市内に暮らしている外国人たちとボランティアが、テーマを決めて話し合ったり、相談事に応じています◆





## 09年度第1回「英会話サロン」開く

### 初の討論形式「マンションのペット共生」 賛成・反対……活発な意見・討論を交わす

すっかり定着して「英語大好き市民」が楽しみにしている、研修部会の市民参加イベント「英会話サロン」。09年度の第1回サロンが、7月19日（日）に市総合福祉保健センター大会議室で開かれました。

外国人ゲストスピーカー3人を囲んで、外国籍参加者2人を含め、総計参加者40人が英会話で交流しました。はじめに各講師がテーマに沿って5分間スピーチ。その後はいつものように、3グループに分かれ、各35分間の「英会話タイム」を楽しみました。

お馴染みのゲスト・スピーカー、カナダ出身のDerek Smithさんは「ペット禁止に対する賛否」について、初めての試みとして討論方式を採用しました。（写真左）

「あなたのマンションでペット禁止が打ち出された場合どうしますか……」に賛成派、反対派に別れ意見が交わされました。討論の途中に考えが変わり、反対側に移るハプニングもあり、比較的身近なテーマとあっ

て、活発な会話が交わされていました。

ガーナ出身のChris Ayesuさんのテーマは「平和とそのシンボルの意味」。（写真中）

ゲストの母国の長いつらい歴史に思いをはせ、大いに考えさせられるテーマでしたが、平和ボケの私たちには日ごろ、あまり身近に感じないせいか、会話が止まりがちのようでした。

ニュージーランドから来ているSinapi Taeaoさんのテーマは、先ごろ急死した「マイケルジャクソン賛辞」。ゲストがマイケルのMoon Walkを実演したり、本人の一生は果たして幸せだったのかななどをスピーチ。changeの話では、米国に在住していた人から、現地で噂されていたことも披露され、タイムリーな話題とあってジェスチャーも入り、盛り上がりました。（写真右）

### ●今年度2回目の「英会話サロン」も

9月13日（日）総合福祉保健センターで

3人のゲストはDerek Smith (Canada)、JanDirk Winkelhaus (Germany)、Gemma Oyamada (Philippine)のみなさんでした。それぞれ外国の文化や生活をテーマに、グループに分かれて楽しく英会話をの時間を過ごしました。



## 日本語教室の学習者たち 日本の夏を太鼓と盆踊りで楽しむ

毎週火曜日の夜、中央公民館で開かれている日本語教室に通う外国人学習者のみなさんが、「夏の特別学習会」で太鼓や盆踊りを楽しみました。

### \*はじめはクイズで日本語学習

スタートは動物当てクイズです。動物の名前を確認してから、しっぽや耳を見て、隠れている動物を当てます。続いてハテナクイズです。一方向から見た物は何であるか考えます。物の名前をたくさん覚えました。

### \*楽しみは日本の夏祭り

最初はリズムの練習です。教室の部会員が手作りで用意した紙バチで、椅子を叩いて「ドドンがドン」。なかなかリズムが合いません。何度も叩いているうちに、調子も合ってきました。

いよいよ曲に合わせて、本物の太



鼓を叩いてみます。順番に各自が叩きましたが、簡単なリズムでも、曲に合わせるのはなかなか大変のようです。

### \*最後は全員で盆踊り

さあ、いよいよ「ボンダンス」です。輪になって歌に合わせて「東京音頭」「炭坑節」を踊りました。踊りを盛り上げるのに、練習したばかりの太鼓が活躍しました。太鼓を快く貸して下さった馬込沢自治会や、太鼓や踊りの指導をして下さった市村美代子さんの協力もあり、日本の夏祭り文化に触れてみる事ができました。今回は進度別のグループ枠を外し、教室の全員と一緒に話したり、楽しみながら懇親を深めた特別学習会になりました。（文責 藤本・村田）



太鼓のリズムも合ってきた。夏の夜を楽しんだみなさん

## ◎KIFA「交流カフェ」便り

- ・9月は災害時の対応について（写真右）  
9月13日（日）は鎌ケ谷市の洪水ハザードマップを配布、災害時の注意事項などについて話し合いました。
- ・10月の開催日が変更になりました。  
11日（日）の予定でしたが、会場の都合で4日（日）になりました。会場は中央公民館学習室3です。
- ・なお、11月以降の開催予定は、次の通りです。  
11月8日（日）、12月6日（日）、2010年1月10日（日）、2月7日あるいは21日（日）、3月14日（日）です。いずれも13時30分から中央公民館で開かれます。
- ・地域新聞が取材に来ました。  
「交流カフェ」が地域のメディアにも注目されています。前は「船橋よみうり」5月16日付の紙上で紹介さ



れました。今回は「地域新聞」の8月7日号に「鎌ケ谷市や周辺の地域に住む外国人同士のふれあいの場、笑顔があふれるにぎやかなカフェ」として紹介され、注目を集めています。この記事を見てボランティアに参加希望者も増えています。

## ●Information

### ◆中国残留邦人の話を聞く会

中国残留邦人として帰国後、講演などの経験のある外部講師から、当時の状況を語っていただいた後、市内に在住されている数人の帰国者とともに、座談会形式で話を聞くと同時に、日本人、在住中国出身者のみなさんとも懇談を通じ交流を深めます。

アトラクションとして二胡の演奏、中国の歌の披露も予定しています。

日 時 10月25日（日）13時30分～15時30分  
会 場 まなびいプラザ  
会 費 K I F A会員：300円  
非K I F A会員：500円

当日直接、会場にお越しください。

### ◆米国弁護士ヘンリー幸田さん講演会

日本人最初の知的財産法専門の米国弁護士であり、エジソンの発明品収集家としても知られるヘンリー幸田さん。数10社の顧問弁護士、大学の教授も務め、日米半々の生活を送っている同氏の講演会を開催します。

演 題：天才エジソンの秘密 母が教えた七つのルール

日 時：11月29日（日）、受付：13時～ 開始：13時30分  
会 場：中央公民館 視聴覚ホール  
定 員：200人（当日先着順）  
入場料：無料

### ◆K I F Aパーティへのご案内

テーマは「異文化交流を深めよう」

日 時：12月13日（日）受付開始 13時～  
13時30分～15時30分

会 場：市総合福祉保健センター6階（市役所裏）  
内 容：軽食、ゲーム、ブースなど

参加費：会員 一般：1000円  
大学生、高校生、中学生：500円  
小学生：300円（幼児は無料）  
会員以外 一般：1500円  
大学生、高校生、中学生：700円  
小学生：500円（幼児は無料）

（注）上記は前売り券の金額です。当日券は500円増となります。

申込み：12月4日（金）までに鎌ケ谷市国際交流協会事務局（市役所3階）へ。あるいはK I F A会員を通じてチケットを購入してください。

## 新しいパンフレットをご利用ください。



K I F Aの活動内容をまとめた新しい「ご案内」パンフレットが出来ています。英語、ポルトガル語、中国語、ハンガルの4カ国語で記されており、日本語はルビ付きです。事務局に用意してあります。K I F Aの存在を広めるツールとしてご利用ください。

## 編集後記

ハンガリー映画「人生に乾杯！」を観ました。

ハンガリー動乱のさなか、ソ連共産党の手先になって反乱市民摘発に動く青年と、資産家の令嬢が運命的な出会いから結婚します。時代は変わって東欧の小国もいまや、EU加盟の市場経済。二人は81歳と70歳に。日本で言えば「後期高齢者」です。

年金だけでは暮らしていけない世の中。借金取りに追われる毎日が続き、二人の大事なダイヤモンドのイヤリングまでカタに取られてしまった。高齢者に冷たい世の中に怒った二人は「紳士的な強盗」行脚。逃避行は多くの民衆を巻き込んで思いがけない展開に――。「自分の正義」を行動で示す。歳なんて関係ない。

ボランティア参加の動機はいろいろです。それぞれ「自分の形」で活動できることが喜びになります。（T）